

羽村駅西口土地区画整理事業に関する検証の視点

項目	現状	検証の視点
防災・安全性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急車両が進入できない箇所が多い ・インフラ（都市計画道路、雨水管等）が脆弱 ・細街路の形状が不整形で、見通しが悪い ・生活道路である細街路に通過車両が流入している ・交差点形状の悪い箇所、歩車道区分のない道路など交通安全上の問題がある ・災害時の避難場所の確保が困難である 	<ul style="list-style-type: none"> ・施行区域内の防災機能等の改善により、安全性が向上するか。 ・整備をしない中でも、安全確保上の解決策があるか。
利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路が整備されていない ・狭隘道路や行き止まり道路が多い ・都市計画公園、福祉施設などの公共施設が整備されていない ・交通結接点である駅前にバスやタクシーなどの乗り入れがない 	<ul style="list-style-type: none"> ・整備により、施行区域内や広域的な交通のアクセス性や利便性が向上するか。 ・整備をしない中でも、交通のアクセス性や利便性を確保する手段があるか。
地域住民の権利や公平性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の早期実現を求める声がある ・事業に反対する声がある ・仮住まいが長期化している方がいる ・事業期間が長期化し、高齢化・世代交代が進んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の権利や公平性の確保を最優先し、整備を行うことができないか。
地域の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・事業地区内の人口が減少している ・新たな住宅の建設が進まない ・駅前商店数の減少により、人通りが少なくなっている ・残存する農地や空き地の相続の発生などにより、宅地開発が進み、既成市街地の環境悪化が懸念される 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前の整備や企業誘致、土地の高度利用などにより、市街地や経済の活性化などに寄与することができるか。
環境保全（歴史や景観の保全）	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財や自然が残る地域である（石垣、崖線緑地、埋蔵文化財包蔵地など） 	<ul style="list-style-type: none"> ・現存する歴史・文化財や景観を活かした整備ができるか。

項目	現状	検証の視点
公共の福祉の増進	<ul style="list-style-type: none"> ・公園などの公共施設が少ない ・少子高齢化を見据えたバリアフリー化が進まない 	<ul style="list-style-type: none"> ・整備によりあらゆる世代が快適に生活していくことができるか。 ・整備をしない中でも、あらゆる世代が快適に生活することが可能か。
新たな価値観の創造	—	<ul style="list-style-type: none"> ・住みたいと思える地域となるよう、新たなまちの魅力や価値観を創造することができるか。
他の都市基盤整備手法	—	<ul style="list-style-type: none"> ・区画整理事業以外の手法を用いることにより、効果的・効率的な整備ができるか。（柔らかい区画整理による整備、沿道整備街路事業による整備、狹隘道路整備計画による整備、駅前再開発事業による整備など）
持続可能な自治体運営・健全な財政運営	<ul style="list-style-type: none"> ・経常収支比率が高い ・歳入の大幅な減少 ・基金残高の減少 ・社会保障費（扶助費）の増加 ・公共施設等の老朽化 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の財政状況で、整備に必要となる財源が確保できるか。